



平成27年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年9月12日

上場取引所 東

上場会社名 インспек株式会社
コード番号 6656 URL <http://www.inspec21.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 雅史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 富岡 喜栄子

TEL 0187-54-1888

四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第1四半期の業績(平成26年5月1日～平成26年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第1四半期	109	△47.5	△93	—	△96	—	△97	—
26年4月期第1四半期	208	115.9	△18	—	△22	—	△22	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第1四半期	△37.32	—
26年4月期第1四半期	△19.15	—

当社は平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益金額は前会計年度の期首に当該株式が分割されたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年4月期第1四半期	1,494	—	400	—	26.0	149.28
26年4月期	1,260	—	494	—	38.5	186.60

(参考)自己資本 27年4月期第1四半期 388百万円 26年4月期 485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年4月期	—	—	—	—	—
27年4月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	700	40.1	△50	—	△60	—	△60	—	△23.07
通期	1,700	70.0	100	84.5	80	163.2	80	173.1	30.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年4月期1Q	2,601,300 株	26年4月期	2,601,300 株
② 期末自己株式数	27年4月期1Q	— 株	26年4月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年4月期1Q	2,601,300 株	26年4月期1Q	1,194,500 株

当社は平成25年11月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年4月期1Qの期中平均株式数(四半期累計)につきましては、前会計年度の期首に当該株式が分割されたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には、発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績には様々な要素によりこれらの業績予想とは異なる場合があります。業績予想に関する事項は、[添付資料]2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国が緩やかな回復基調で推移したものの、ウクライナ情勢や新興国の景気減速等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。一方、わが国経済は、平成26年4月に実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動減の影響も懸念されましたが、政府の各種政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益及び個人消費の大幅な落ち込みはみられず、緩やかな改善傾向が続いております。

当社が属する半導体関連業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末等のモバイル関連機器及び自動車向けの旺盛な需要に牽引され、設備投資への積極的な取り組みの傾向が出てきております。

このような経営環境のもと、当社は、前事業年度から受注が好調な基板AVI及び基板AOIを中心に国内外の販売活動を強化してまいりました。また、ファイン対応BGA検査装置やリードフレーム検査装置及びインライン検査モジュールにつきましても積極的に受注獲得に努めてまいりました。

また、本年の6月4日～6日に東京ビッグサイトで開催されたJPCAショー（第44回国際電子回路産業展）におきましては、FPC（フレキシブル基板）分野で自動化に対するニーズの拡大に対応した高性能小型AVI「AV500」を出展し、前年を上回る国内外の多くの企業様からご相談を頂くことができました。

しかしながら、当第1四半期におきましては引合いや受注は引き続き好調に推移しておりますが、現受注案件につきましては第2四半期以降に納入が多いことから、売上高は低い水準にとどまりました。

研究開発活動では、基板AVIの競争力を強化するために、カラーカメラ搭載高速個片イントレイ検査装置の開発及びAVIシリーズの競争力向上のための開発に取り組んでおります。

この結果、売上高は109百万円（前年同四半期比47.5%減）、営業損失93百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）、経常損失96百万円（前年同四半期は経常損失22百万円）、四半期純損失97百万円（前年同四半期は四半期純損失22百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ234百万円増加し、1,494百万円となりました。これは主に、現金及び預金64百万円の増加、仕掛品299百万円の増加、受取手形及び売掛金166百万円の減少によるものであります。

負債の部では、前事業年度末に比べ328百万円増加し、1,094百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金151百万円の増加及び長期借入金173百万円の増加等によるものであります。

純資産の部では、前事業年度末に比べ94百万円減少し、400百万円となりました。これは主に、四半期純損失97百万円等の計上によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の第2四半期（累計）及び通期の業績予想につきましては、平成26年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位 : 千円)

	前事業年度 (平成26年 4 月 30 日)	当第 1 四半期会計期間 (平成26年 7 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	367,656	432,120
受取手形及び売掛金	343,423	176,832
仕掛品	239,933	539,867
原材料及び貯蔵品	39,773	51,712
その他	19,589	38,518
流動資産合計	1,010,376	1,239,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	203,409	200,400
その他 (純額)	27,145	36,198
有形固定資産合計	230,555	236,599
無形固定資産	6,607	6,385
投資その他の資産	12,853	12,638
固定資産合計	250,015	255,623
資産合計	1,260,392	1,494,675
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	144,347	296,092
1 年内返済予定の長期借入金	128,508	129,060
未払法人税等	6,080	1,776
製品保証引当金	12,928	7,960
その他	43,961	57,099
流動負債合計	335,825	491,988
固定負債		
長期借入金	406,664	579,235
その他	23,131	22,947
固定負債合計	429,795	602,182
負債合計	765,621	1,094,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,616,847	1,616,847
資本剰余金	947,947	947,947
利益剰余金	△2,079,393	△2,176,470
株主資本合計	485,400	388,323
新株予約権	9,370	12,181
純資産合計	494,770	400,505
負債純資産合計	1,260,392	1,494,675

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成26年7月31日)
売上高	208,953	109,775
売上原価	135,157	89,994
売上総利益	73,796	19,781
販売費及び一般管理費	92,591	113,664
営業損失(△)	△18,795	△93,882
営業外収益		
補助金収入	—	72
業務受託料	—	45
その他	77	94
営業外収益合計	77	212
営業外費用		
支払利息	2,926	2,423
手形売却損	783	521
その他	154	159
営業外費用合計	3,865	3,105
経常損失(△)	△22,583	△96,775
税引前四半期純損失(△)	△22,583	△96,775
法人税、住民税及び事業税	485	485
法人税等調整額	△197	△185
法人税等合計	288	300
四半期純損失(△)	△22,871	△97,076

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。